

14. 21-478  
1200501160836  
21  
478



始



21528A 14.21-478

14.2  
47

南支那及南洋調査第百八十六輯

英領北ボルネオ事情

臺灣總督官房調査課



凡例

一、本書は、華南銀行の調査に係るものなほ、同行の承認を得て上梓せるものである。

一、本書は、事務閲覧の便宜を圖り印刷を以て筆寫に代へたるに止まり敢て公刊せんとするものでない。

昭和五年十一月

臺灣總督官房調査課

發行所  
贈本



14.21-478

# 英領北ボルネオ事情 目次

第一 概要	一頁
位置、人種、行政、英領北ボルネオ會社	
第二 金融	二頁
ステート・バンク・オブ・ノースボルネオ、ハリソン商會、支那人高利貸、貨幣制度、支那商、邦人農園	
第三 農業	五頁
土地の租借	
一 護謨	六頁
二 椰子	八頁
三 煙草	一〇頁
四 米	一一頁
五 サゴ	一二頁
第四 林業	一四頁



發行所

第五 鑛業.....一五

第六 貿易.....一五

一 概況.....一五

二 輸入.....一六

三 輸出.....一八

四 地方別.....一九

1 サンダカン.....二二

2 東海岸.....二三

3 西海岸.....二五

4 クダツ.....二七

5 奥地.....二八

第七 交通.....二九

第八 重要都市.....三〇

1 サンダカン.....三〇

2 セセルトン.....三三

3 タワオ.....三四

4 クダツ.....三六

5 ラハダト.....三七

6 ボーフォルト.....三八

7 ウエストン.....三八

8 メンバコール.....三九

# 英領北ボルネオ事情

## 第一概要

英領北ボルネオはボルネオ島の北部を占め、面積二九、一八四平方哩にして、東方はスールー及セレス海に、北西方は支那海に面し、南境は蘭領ボルネオ、西境はサラワク王国に接す。

海岸の平地及河川流域を除く大部分は山岳重疊し、開發せられたる面積は極めて少し。

従て住民も少く一九二七年末に於ける推定人口二八三、〇〇〇と稱し、在住外人は支那人最も多く、彼等は商人及労働者として移住し來り、商人は英領北ボルネオに於ける經濟上の實權を握り、如何なる寒村と雖も必ず入り込み土人相手に取引を爲せり。

支那人に亞ぐは爪哇人にして、多く労働に従事せり。

邦人數は約六百名位にして、内タワオ在留者四百六十名位あり。

ボルネオ土人の内ズスン人(Dusun)は北ボルネオ總人口の三分の一以上と稱せられ、言語は土人種族により異り三十餘種ありと稱せられ居るが、一般市街地に使用せられ居るは馬來語なり。

本領は英國政府の特許せる英領北ボルネオ會社 (The British North Borneo Chartered Co.) の統治する所にして、同地にては同會社を普通政府と稱し居れり。  
 首府はサンダカンにて、諸官廳はサンダカン及ゼセルトンに分離せられ居れり。  
 英領北ボルネオの地方行政は西海岸・サンダカン・東海岸・クダツ・奥地の五理事廳に分轄し、各廳(又は州)に理事官を置き、更に之を十七行政官區に細別し、各區に地方官 (District officer) を駐在せしめ居れり。區は我國の郡に相當す。

### 第一金融

英領北ボルネオに於ける金融機關として、一九二一年三月の設立に係る The State Bank of North Borneo あり。同行は北ボルネオ政府の出資するところにして、財政局の管理に屬す。資本金一三五、〇〇〇弗、本店はサンダカンにあり。ゼセルトンに支店を有し、英國・濠州・印度・海峽植民地・日本・支那各地のチャーター銀行とコレレス關係あり。預金・擔保貸付・手形割引・其他一般銀行業務を取扱ひ居るが、貸出は輸出手形買入・其他短期融通にて長期貸付を好まず、栽培業者の如く長期の資金を必要とする者は、利用の途少く、殊に最近護謨價の暴落あり、一面可成りの滞貸を生じ居る由にて農園擔保新規貸出は引締め居る模様なり。

貸出利率は最低八分見當にて、最高一割二分位なる由。

タワオ地方邦人企業家も農園を擔保に差入れ二三融通を受け居る模様なるが、同地には支店なく、理事官を通じ借入申込を爲す由なり。

サンダカン地方邦人にして、同行より借入を爲し返濟出來ず督促嚴重にて農園を賣却返濟せる向もある由。一九二九年六月末に於ける同行貸借對照表を見るに左の如し。

負債之部 (貸方)		資産之部 (借方)	
拂込資本金	一三五、〇〇〇・〇〇	現金及取引先	四六七、〇三八・〇五
支拂手形	九七、八七二・二一	受取手形	二二四、七三五・六九
取立手形勘定	三四、六四五・八三	取立手形	三四、六四五・八三
各種預金	一、〇八八、九五六・三八	諸貸出金	一、五四一、五八五・七一
政府預金	九一三、三九九・一九	雜器	一、八六八・三三
計	二、二六九、八七三・六一	計	二、二六九、八七三・六一

ステート・バンクの外に同行より古きハリソン商會 (Harrisons & Crosfield (Borneo), Ltd.) 銀行部あり。同銀行部は香上銀行代理店にして、現在は殆んど貸出は爲さず、主として爲替業務を取扱ひ居れり。臺灣銀行とコレレス關係あり。  
 ハリソン商會はサンダカンに本店を有し、ゼセルトン・ラブアンに支店あり。

右兩者の外に當領に於ては支那人が金貸業を営み居れり。暴利を貪る爲め政府は支那人の金貸業を禁じ居る趣なるも、事實に於ては之を行ひ、又各地に於て農業者に對し盛んに高利前貸を爲し、其農産物を廉價に買入れ二重に利得を爲し居れり。邦人企業家も此種の支那商に苦しめられ居る者あり。

當領の貨幣制度は海峽植民地の延長に過ぎず。

通貨はボルネオ政府發行紙幣、補助貨流通し、流通高を見るに

一九二八年一月一日現在 一、九九一、五六二弗七五

同年十二月三十一日現在 一、七四八、八三六弗五〇

にして、一九二八年中最高は、一月の二、〇二四、五〇一弗二五にして、最低は六月の一、七〇三、三六九弗七五なり。

當領の通貨は海峽植民地と同價にして、前記ボルネオ政府發行の通貨の外、海峽植民地通貨も其儘流通し居れり。但し其額は僅少なり。

當領の支那人商人は食料品・綿製品・其他の物資を主として新嘉坡・香港より輸入し、之が代金決済方法は對香港爲替はハリソン銀行部が獨占的立場にある關係上相場不利にて、種々の點に於て好都合なる新嘉坡を通じ決済し居り、護謨・コブラ・其他の物産を買入れ、新嘉坡へ輸出し居れり。

タワオ地方に於ける邦人農園は、大抵華商より物産の供給を受け居るが、代金支拂方法は個人園にありては其生産コブラを引渡し、窪田・久原兩大農園は其生産品を直接新嘉坡に輸出し、同地に於て賣却し、物資代金は新嘉坡宛當座小切手を交付し居れり。華商は之を以て對新嘉坡の決済の一部に充て居るが、右當座小切手により現金立替拂を受くる場合は、百弗に對し一弗乃至三弗の手数料を支拂ひ居れり。

タワオ地方邦人個人農園は、内地より資金取寄の場合銀行利用の方法無き爲め、窪田・久原兩園を煩し現金も保管を依頼し、必要に應じ引出し居れり。

### 第三 農業

英領北ボルネオは未だ新開地の域を脱せず。産業の主體は農業にして護謨・椰子・煙草等の栽培企業を主とし土人の米作・サゴ栽培等は前者に比し微々たるものなり。

栽培企業を目的とする土地の租借は容易にして、現在の土地法の概要を示せば左の如し。

一、面積六四〇英反(即一哩四方)以下の土地は次の條件を以て租借することを得。

租借特許料 不要

最初の六箇年間 無税

第三 農業





線にして面積・生産量共に過半を占め居れり。

當領に於ける邦人護謨栽培状態は既に報告済なるが(南支那南洋調査第百八十七輯)、タワオ護謨園(舊稱久原農園)は東海岸州總植付面積の約八割方を占め、當領邦人護謨・椰子栽培業者中第一位にあり。實にタワオ原頭の大半を占め居れり。

護謨栽培は比較的粗放的に大規模の經營に適し、殊に當領に於ては土地の獲得自由且つ簡單なるに付、南洋方面に於ける適當の事業なれど、護謨價の變動餘りに激しく、一昨年來暴落を重ね、最近は將に生産費を割らんとする情勢にあり。企業家は受難時代にあり。

二 椰子

椰子は護謨同様當領に於ける重要なる農業にして、南洋の他領と同じく古くより土人により到處に栽培せられたり。

然し歐洲人が大農式に椰子の栽培を始めたるは、比較的近年にして、護謨に比し價格の變動少く需要も年々増加の趨勢にあり、栽培面積も年々擴張せられ居れり。殊に採收期に入り收穫物の處理比較的簡單なる爲め個人經營に適し、東海岸州タワオ地方に於ける邦人の椰子栽培は非常なる發展を爲しつつあり。

當領に於ける一九二八年末に於ける植付面積及同年度生産量は左の通り。

地方別	面積	生産		果實量
		コ	油	
サンダカン	八〇,三三三 <small>英反</small>	二,七七一 <small>擔</small>	二,三三三 <small>擔</small>	七四,一九四 <small>擔</small>
東海岸	一六,〇三七	四,四六八	二,四七五	七四,一九四 <small>擔</small>
西海岸	八,四三三	六,九八九	五,六六六	—
計	一〇四,七九九	二六,一四七	三二,四七四	二,〇〇六,五二四 <small>擔</small>

註 右表サンダカンより果實輸出多きは香港向材木積取船を利用して果實の儘積出すによる。

植付面積は一九二七年の末に比し約四千英反の増加を來せり。

東海岸州に於ける植付面積及生産量を更に細別すれば左の如し。

地方別	植付面積	生産		果實量
		コ	油	
ダハロ	八七,二四四 <small>英反</small>	二,五七三 <small>擔</small>	七,二二二 <small>擔</small>	七四,一九四 <small>擔</small>
ラハダト	七三,三三三	一,五八五	一,七五四	—
計	一六〇,五七七	四,一五八	二,四七五	七四,一九四 <small>擔</small>

タワオ地方植付面積八、七一四英反の中邦人所有園は四、四〇〇英反にして、窪田農園は三、四九〇英反を占め、他は數英反の小園を合せ十數園あり。當地には又外務省試植移民六家族在住し、椰

子・マニラ麻等を栽培し居れり。當地方栽培業者中從來臺灣總督府より補助金の下附を受けたるもの多く、英領北ボルネオ中邦人の最も發展せるところにして大に將來を囑目せられ居れり。

椰子の栽培は土地の選定に注意を要する事護謨以上にして、海岸一帯及河川流域の排水に便なる平地を理想とし、土人は生活交通關係上海岸地を選びて栽培せり。

當領は河川の流域を除き海濱より一哩乃至一哩半の奥地は丘陵地なれば、大面積の植付栽培を爲すには勢ひ丘陵地も開墾する事となり、殊に創業當時に於ては無經驗にて土地の選定を全く吟味せざりし爲め、努力せる割合に成績擧らず、事業に齟齬を來し苦境に陥り居れるものあり。

平地と高原を比較する時は、椰子樹の發育状態・着果數・果實の大小等可成りの差異あり。全部の高地が不良なりと一概には断定出來ざるも、既成園の状態より見て地勢の良否は事業の成績に關係せるところ大なるに付、椰子栽培に際しては土地の選定に付き特に注意を要す。

次に椰子園經營上注意すべきは野獸の被害にして、タワオ地方邦人園中今日迄蒙りたる野獸の被害は實に莫大にして、森林境の柵垣完全ならざりし爲め獸害により遂に放棄の不得已に至りたる園もあり。

### 三 煙草

當領に於ける最近數年間煙草植付面積及生産量は左の通り。

年 度	栽 培 面 積	生 産 量
一九二四年度	九三〇 <small>英畝</small>	一、三四五、七〇三 <small>担</small>
一九二五年度	一、〇五五	一、四二八、三三二
一九二六年度	一、〇八八	一、一三四、〇五〇
一九二七年度	一、〇七八	一、二〇二、五三三
一九二八年度	七五〇	八三三、二〇〇

大體に於て消長なきも、一九二八年度に於ては英國人經營の大農場閉鎖せるものありて、面積・生産量共に減少せり。

邦人にして當領に於て煙草を栽培せるは、一九二〇年頃にして、サンダカン附近にボルネオ殖産會社が外人園を買収栽植せるが、煙草葉を收穫せるを失火し、約二十萬弗の損害を蒙り、遂に再植付を爲す能はざりしなりと。

### 四 米

米作は當領に於て重要な土人産業の一にして、政府に於ても之が植付を奨励し居るも、地勢其他の關係にて需要を充す丈の收穫を得ず、年々佛領印度支那其他より輸入し、其金額一箇年二百數十萬弗に上り、實に當領輸入品中第一位にあり。

當領に於ける主産地は西海岸州ゼルトンよりポーフォルトに至る鐵道沿線にして植付面積及生

産量は左の通り。

地方別	植付面積	生産量
一、水稲	三二、二八〇	七、〇五六、三九五
西海	七、七八〇	一、九二〇、〇〇〇
奥地	五五一	六六、一五〇
小計	三九、六一一	九、〇四二、五四五
二、陸稲	七九二	二二、七〇六
東海	六、〇〇〇	一、〇七〇、六九七
西海	一八、五〇〇	六五二、〇〇〇
クダ	二、四八七	一六四、〇〇〇
サダカ	四、一〇〇	四八五、〇〇〇
奥地	三一、八七九	二、三九五、四〇三
小計	七一、四九〇	一一、四三七、九四八
總計		

五サゴ

當領に於てサゴ栽培地は西海岸州の西部メンバコール地方に限られ居り、同地方に於ては食料品として米の代用品となり居れり。

植付面積及生産量左の如し。

年	植付面積	生産量
一九二七年度	一三、一六六	八、二〇七、〇〇〇
一九二八年度	一三、四九〇	四、〇二八、七九五

一九二八年度は生産量前年度に比し半減せり。

此外最近タワオ地方邦人栽培業者間にマニラ麻栽培熱勃興しつつあるが、同地久原農園は數年前より試験的栽培を爲し、又社員を比律賓に出張せしめて同地の栽培状態を調査し、比較研究したる結果、タワオ地方にても相當の成績を挙げ得る見込ある由にて、地勢及地味は比律賓に及ばざるも當地方には土地の獲得容易なると地租も低廉なれば將來に於て有望なる事業に數えらるゝ時期到來すべし。

久原農園に於ては熟練せる一人の土人により手引の麻を製造せしめ居るが、別に植付面積擴張の模様なきも、窪田農園はパロン河上流に新規開墾植付を爲し居り、其の他個人にてポツポツ植付をなす者あれば比律賓にては之が種苗の輸出を禁止し居る爲め、タワオ地方にては苗木を得る事困難なり。

サンダカンに於ける政府試験農場にては、マンゴー・カカオ・麻・コーヒ・ガンビル其の他植物の試験栽培を爲し居れり。

#### 第四 林業

當領は平地割合に少く、高地の栽培地を除く大部分は右用材林を以て覆はれたる廣大なる處女林にして、海岸より二十哩以内の森林にても二百萬英反以上と稱せらる。

當領内木材伐採権は全部 British Borneo Timber Co. が之を保有し、盛に伐採してサンダカンに於て製材し輸出し居るが、他の木材業者は同社より一定區域の分譲を受け居れり。タワオの窪田コンパニーは東海岸バロン河上流に拂下を受け、材木を切出し、香港及日本へ輸出し居たるが、相場下落の爲め最近は積出を見合せ居れり。

一九二八年度に於ける木材伐採量は三、六七七、七九二立方呎にして、前年度に比し約九十二萬立方呎の増加を來せり。

先年迄は多く丸太の儘積出されたるが、數年前よりサンダカンに前記 B・B・T 外二三の製材工場建設せられ、盛に製材し香港其の他に輸出し、當領に於ける護謨に亞ぐ重要輸出品となれり。

#### 第五 鑛業

當領の鑛産物中主たるものは石炭にして、東海岸州蘭領境に近きカウイ灣の奥地に産し一九二八年度採掘量六〇、七七九噸なり。

大部分サンダカンに積出し香港・新嘉坡・濠洲・比律賓・爪哇等各地航行の船舶に供給せらる。

此外石油及金を産出せる事あるも現状不明なるが、久原鑛業會社は歐洲戰爭當時當領各地に於て石油鑛の探査を爲したるも、所期の成績を擧げ得ざりし由なり。

#### 第六 貿易

##### 一 概 況

英領北ボルネオの貿易は久しき以前に於ては、支那人に依て取扱はれ、彼等は季節風を利用して帆船により交易を爲し居たるが、當時は海賊横行し損害を蒙る事稀ならざりしも、ボルネオ各地の開發さるゝに従ひ漸次貿易も發達し金額年々増加せるものなり。

最近五年間に於ける貿易額左の如し（本表は積替商品をも含む）。

年次	輸	入	輸	出	總額
一九二四年		七〇四,二四六		二,一七五,五九九	一,八三一,八〇五
一九二五年		七三三,四二二		一,七八六,一四七	二,五二八,四六八
一九二六年		八三二,〇二二		一,七〇三,四三三	二,五三〇,四五四
一九二七年		一〇,四九七,四七九		一六,九五九,三九七	二七,四五六,八七六
一九二八年		一〇,一六七,九三三		一三〇,四七六一	三三,三三三,四四四

一九二八年度に於て輸出金額の激減せるは護謨價暴落に因る。

主要貿易國は海峽植民地・香港其の他の英領なるが、國別輸出入品名竝に金額は發表せられず。

二輸 入

主要輸入品は米穀其他の食料品・綿布類にして一九二七、八年度を比較對照すれば次表の通りにて、減少の主たるものは、

品名	金額	數量
米穀類	二二九,三二三	二,八二八
阿片類	一五〇,五六九	二五五,三六〇
船舶類	九八,四五九	二八七
綿布類	七三,二四一	

増加の主たるものはベンジン五一、〇三二弗六四、三九六ガロンにして、總額に於て四六八、二七五弗の減少を來せり。

(輸入)

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	數量	金額	數量	金額
米穀類	三三,七五五	二,四三〇,九九〇	二二,〇一六	三,〇〇九,九七〇
綿布類	—	一,〇九六,六六四	一〇,三三〇	一,〇三三,〇三三
食料品類	五,三六〇	九二六,九五三	九,九九三	五,二六〇
煙草類	二七三	五五五,八二八	五七〇,九四三	二,七四〇
鐵器類	一六,五二八	四九八,一九三	四九,九六七	三,一〇八
雜貨類	—	四一八,九四九	四五,〇〇〇	—
酒類	—	三五八,九九〇	三三,三七〇	—
砂糖類	—	三三〇,五七七	二八,〇八一	—
阿片類	—	三〇一,二一七	一五〇,六四八	—
燈油類	三六,六七〇	三,〇一三	三三,三三八	—
機械類	四七,三四六	二,五五三	八三,一六五	—
藥品類	二八,一〇五	一,四三三	一五七,二七四	—
船舶類	—	一八,九六八	二七,六四一	—
文具類	—	一六,一〇〇	一〇,五四三	—
豆類	五,三九七	一,一九三七九	一四,八八九	—
其他	—	一,一九六一五	—	—

建築用材	100,130	21,615
ガソリン 其他	75,367	22,399
計	1,000,741	1,133,841
	9,000,741	8,531,077

(本表は積替商品の数字を含まず以下同断)

三 輸 出

輸出品の主たるものは栽培護謨・木材・烟草・コブラ等にして、一五二七、八年度を比較すれば次表の通りにて、減少の主たるものは左の通り

品名	金額	数量
護謨	4,174,961 <small>円</small>	増 215,239 <small>計</small>
烟草	624,955	減 770,078

にして、護謨は數量に於ては増加せるに不拘、金額は約半減せり。即護謨價は一月七十仙より四月は二十八仙に暴落し、年末迄二十八仙より三十二仙見當を辿りたり。一九二七年度平均六十二仙に對し一九二八年度は實に三十三仙を示せり。増加の主たるものは次の通り

品名	金額	數量
コブラ	379,154 <small>円</small>	46,424 <small>立方</small>
木材	304,167	413,051

にして、就中コブラは數量に於て新記録を示し、東海岸クダツ兩州に於て最も増加せり。値段は年初十一弗四十五仙より年末九弗九十仙に下落せり。

木材も輸出量は新記録を示し主としてサンダカンより香港・濠州及英領向積出増加せり。

四 地 方 別

今地方別外國貿易を觀るに輸入はサンダカン第一位を占め、西海岸東海岸の順序なるが、輸出は護謨價の暴落により三百三十餘萬弗の減少を來し乍ら依然西海岸第一位を占め、サンダカン東海岸之に亞ぐ。

(輸 出)

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	數量	金額	數量	金額
護謨	147,817 <small>計</small>	9,150,564 <small>円</small>	497,563 <small>計</small>	15,003,111 <small>計</small>

地方別	輸		入		輸		出	
	年次	量	年次	額	年次	量	年次	額
東	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
サ	一九二七年	三八六、三三五	一九二八年	三七〇、八六七	一九二七年	四〇四、八八一	一九二八年	四二六、八七
海	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
カ	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
ン	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
ダ	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
カ	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
ン	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
岸	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
計	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
其	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
木	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
獸	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
籐	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
サ	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
燕	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
家	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
雜	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
鹽	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
マ	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
染	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
石	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
コ	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
煙	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
木	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
草	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
葉	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
材	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三
計	一九二七年	九七二七二	一九二八年	九八五一九	一九二七年	二四一〇一〇	一九二八年	二〇三、九三

西	ク	奥
海	岸	地
一九二七年	三六三、九五六	九〇〇、三三三
一九二八年	三七三、五五九	八五三、〇九七
一九二七年	五七、六七四	三三、〇九〇
一九二八年	一、六二〇、七七	九七、一六
一九二七年	二二、三三四	一五、四六二、九〇
一九二八年	四、九三三、〇九	二四、八八九

1 サンダカン

サンダカン州は左表の通り。阿片其他の輸入減にて十二萬餘弗の減少を來し、輸出は護謨價の暴落にて四十萬弗の減少を來したるも、木材・コブラ・煙草等の増加により、結局に於ては八萬餘弗の増加となれり。

(輸入)

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	数量	金額	数量	金額
米穀類	一三、五五〇	九五、三五八	八、九二五	三三、四四九
食糧類	二、六七五	三五、四三二	三、九〇三	一四、九三六
綿織品類	—	—	—	—
煙草類	一、二六八	三七、九五五	三、八三三	一、二五九
布類	—	—	—	—
酒類	—	—	—	—
鐵器類	八、七四九	二〇、九二八	一、九〇一	三、一〇三
計	—	—	—	—



品目	一九二七年度		一九二八年度	
	數量	金額	數量	金額
阿片	三六、七〇〇 <small>タヒル</small>	三〇、一七二	一五、〇六八	一、一三六〇 <small>タヒル</small>
雜貨	二、三三三	三、〇四五	一、九六〇	二、六七八
砂糖	二〇、三六六	一、〇六六	九、九〇三	一、九五三
石油	—	八、六三六	八、五四一	—
其他	—	七、九八七	八、六八七	—
計	—	三、八三六	三、七〇八	—

(輸出)

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	數量	金額	數量	金額
木材	二、三〇六 <small>立方呎</small>	一、六三二	一、九四〇 <small>立方呎</small>	二、六八八 <small>立方呎</small>
護材	一、二八三	七、〇八四	三、六二八	九、八五八 <small>立方呎</small>
石炭	二、七八八 <small>噸</small>	二、七八八	二、九二二	—
煙草	一、七九一 <small>噸</small>	二、〇〇八	二、四三三	—
染料	二、二五九	二、七〇三	二、〇〇〇	—
コラー	一、五四九 <small>噸</small>	一、三三〇	二、〇九八	—
乾魚	一、七〇三	一、六八六	二、四七〇	—
マール	三、〇〇五	八、二九三	九、〇七七	—
其他	—	六、七五四	八、〇三九	—
計	—	四、〇四二	四、二六八	—

2 東海岸

東海岸州一九二七、八年度輸入貿易は左表の通りにて、前年度に比し六萬弗の増加を來せるが、之を主要商品につき港別に表示すれば左の如し。

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	數量	金額	數量	金額
米	—	一五九、三九一 <small>弗</small>	—	一四三、六六五 <small>弗</small>
綿	—	七二、四三七	—	四二、〇九五
食料	—	六七、六六六	—	三八、六四〇
煙	—	五九、五五四	—	三九、〇三五
其他	—	二〇二、三五四	—	一三六、六四七
計	—	五六一、四〇二	—	四〇〇、〇八二

タワオ港首位にあり、右兩港を除けばシンボルナの年額四萬弗位あるのみなり。

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	數量	金額	數量	金額
米	—	三、七四五 <small>弗</small>	—	三、四一八 <small>弗</small>
綿	—	一、三九七	—	一、六四八
食料	—	九、六三三	—	一、六八六
煙	—	八、七〇三	—	一〇、一三七
其他	—	四、八八六	—	五、〇四八
計	—	二、二二八	—	二、七三二

其砂	計	他糖
	四〇三六	
	三三三三	
	二三〇五三	
	九七二七一	
	三六、四四六	
	二六、〇九四	
	九六、五二九	
	五、三三四	

輸出は下表の通り、煙草の減收・護謨價の暴落等にて二十八萬餘弗の減額を見たるが、港別主要商  
品につき比較すれば左の如し。

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	数量	金額	数量	金額
護謨		三九三、六九〇		八七、八七五
石炭		二二七、〇五〇		一二九、五二一
木材		二一〇、九一三		四五七、六一六
煙草		一七七、四二五		六九、三二二
其他		二〇三、七四四		七四四、三三四
計		一、二二二、八二二		

右二港を除くシンボルナ港其他の輸出額は僅々七萬餘弗なり。

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	数量	金額	数量	金額
護謨		七三、七三二		四八、五五五
計		一、二七九、八四二		一、五二二、四四〇

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	数量	金額	数量	金額
煙草		八五八、六一四		五〇八、四六一
石炭		三三八、五九二		四五五、二
木材		一六八、五七〇		三三〇、五
米穀		一四二、五八六		一七四、四五
燕巢類		四六、七九二		三六、一三三
鹽魚		三九、八〇〇		四三、九一九
他家畜		三九、七九二		八〇、八四四
計		二、一五六、〇一〇		二、〇〇三、九三三

3 西海岸

西海岸州輸入品の主たるものは米穀類・綿布類・食料品にして、一九二八年度は前年度に比し三十餘萬弗の減少を來したるが、總額三百三十萬弗の中二百七十萬弗迄ゼセルトン港の輸入なり。  
輸出は前年度に比し實に三百三十餘萬弗の激減を來したるが、這是當領物産の大宗にして又同州輸出額の大部分を占むる護謨價の暴落に原因するものにて、輸出額に於てもゼセルトンは總額四百二十萬弗中三百六十萬弗を占む。

(輸入)

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	数量	金額	数量	金額
米穀類	二四,四〇三	九八,一四七	二二,三三三	八六,五五五
綿布類	—	—	—	—
食料類	三三,八三三	四九,六五四	四三,五九一	—
煙草類	八五六	四七,六〇一	三六,九七三	—
鐵器類	—	—	—	—
砂糖類	四六四	三三,七八五	二五,〇一一	—
石貨類	—	—	—	—
酒類	一七,三三六	三〇,四三三	三三,〇六三	—
機械類	—	—	—	—
其他類	—	—	—	—
計	—	三,六三一,九六八	—	三,三二四,五六三
護謨	—	—	—	—
計	—	七,三六四,八七	—	三,九四一,〇一〇
護謨	—	—	—	—
計	—	二,六八六,三六	—	一,一七九,五五五

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	数量	金額	数量	金額
家畜類	—	—	—	—
獸皮類	—	—	—	—
皮革類	—	—	—	—
其他類	—	—	—	—
計	—	—	—	—
計	—	—	—	—
計	—	—	—	—

4 クダツ

クダツ州輸出入貿易は次表の通りにて、輸入は八萬餘弗の減少を來し、輸出も煙草の減收・護謨價の暴落にて四十餘萬弗の減額を見たるが、只コブラのみ約十四萬弗の増額を見たり。

(輸入)

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	数量	金額	数量	金額
米穀類	—	—	—	—
綿布類	—	—	—	—
食料類	—	—	—	—
其他類	—	—	—	—
計	—	—	—	—
計	—	—	—	—
計	—	—	—	—

(輸出)

品目	一九二七年度		一九二八年度	
	數量	金額	數量	金額
煙草	五五,五〇〇 <sup>封度</sup>	五五,四九九 <sup>弗</sup>	二六,七九六 <sup>封度</sup>	二六,七六六 <sup>弗</sup>
護謄	七六,〇一六	四五,三〇四	三六,七三三	六八,七三三
コブラ	一〇,一四三	八六,九一八	三五,〇一九	二六,四四七
ダマール	一五四二五	六七八二二	四六,九一六	八二,九九
其他		九六,五四四	九二,九九八	
計		一,三三,〇七七	八五,六四八	

5 奧地

奧地州貿易は左の通りにて殆んど問題とする程のものなし。

輸出入	一九二七年度		一九二八年度	
	數量	金額	數量	金額
輸入	二二,三三四 <sup>弗</sup>	二二,〇九〇 <sup>弗</sup>	減	一四四 <sup>弗</sup>
輸出	九,七一六	五,二一九	減	四,四九七
計	三二,九五〇	二八,三〇九	減	四,六四一

第七 交通

**道路** 北ボルネオは未だ新開地の域を脱せざると、政治が營利會社に依て行はれ居る關係上、他の東洋方面の英領に比し道路發達せず、サンダカン・ゼセルトンの僅々郊外十數哩迄自動車開通し居るに過ぎず。タワオ地方は海岸に沿ひ十八哩のガデン迄目下自動車道路擴張工事中にて、同道路開通の上は同地方に發展せる邦人企業家に取りて非常なる便益を得る事となるが、現在は同地方邦人は多く徒歩にてタワオと交通し居り、只久原・窪田兩農園には數哩の自動車道路及臺車の設備あり。

**鐵道** 鐵道は西海岸・ゼセルトン・ボーフォルト間幹線と、ボーフォルトより奧地メララップ及海岸地ウエストン迄支線あり。全線約百二十五哩にして幹線沿路は地味肥沃なる爲め、護謄植林地數萬英反に達し、各驛は即ち護謄工場所在地となり居り物資輸送上重要機關となり居れり。

同鐵道幹線は一週四回支線内奧地行は隔日に片道運轉せるを以て、旅行者等には利用の途少し。  
**海運** 當領中年額百萬弗以上の貿易港はサンダカン・ゼセルトン・タワオ・クダツ・ラハダトの五港にして外にメンパコール・ウエストン・シビタン・及シンボルナの諸港あり。  
 サンダカンには新嘉坡線の外濠洲・爪哇支那日本・チャーデン(香港間)及比律賓ホーロー及サムボ

アング通ひ汽船寄港し、物資運輸以外ボルネオ炭の積込を爲し居るが、タワオには大阪商船會社爪哇航路船一箇月一回往復共に寄港し、窪田コンパニーは同汽船會社の代理店たり。

タワオは又二週間一回蘭領ボルネオのタラカンとの間にK. P. M. 船により聯絡せられ、サンダカンの間は一週一回定期船の外臨時に石炭積取船寄港し、船客も取れり。定期船はシンボルナ及ラハダトに寄港す。

當領と新嘉坡との聯絡を爲す Straits S. S. Co. 船寄港地はサンダカン(終點)・ゼセルトン・クダツ・ラプアン(海峽殖民地に屬しメンバコール・ウエストン等は當港と聯絡せり)にして新造船三隻就航し居れり。

タワオ・サンダカン・ウエストン各地に於ける邦人企業家は市と農園との交通にモーターボート及土人帆船を利用せるもあり。

### 第八 重要都市

#### 1. サンダカン (Sandakan)

英領北ボルネオの首府にして同名灣口にあり、當領第一の都市と云ふも人口は附近の部落農園を併せ約二萬人位にて、内六七千人は支那人にして、彼等は主として商業を営み又農園苦力として活動せり。

市街は大部分支那商舖軒を並べ、食糧品・其他雜貨類の主要輸入品は彼等の手を経るもの多く、相當の資産を有する者は栽培業に投資し又物産を買入れ香港・新嘉坡に輸送せり。

當領主たる官廳は當地にあり。前々總督は首府をゼセルトンに移轉せんとしたるも、總督の更迭により其儘となりたるが、同地在留邦人の言によればタワオ方面の急激發展(即ち主として邦人の發展を意味す)は首府移轉中止の一原因なる由。State Bank 本店は當地にあるも貸出方面の主力はゼセルトンにあるものの如し。

當港輸出入貿易は左の通り

輸 入	一 九 二 七 年	一 九 二 八 年
計	三、八三六、二三五 <small>噸</small> 四、〇四二、八九一 七、八七九、一二六	三、七〇八、六六七 <small>噸</small> 四、一二六、八一七 七、八三五、四八四

にして、一九二七年度迄はゼセルトンの次位にありたるが、ゼセルトン港主要輸出品たる護謨の價格暴落の爲め一九二八年度に於ては第一位となり、主要輸出品は木材・護謨・コブラ・石炭(セバチツク産出炭積替)・染料・煙草・鹽魚等にして輸入品は米穀類・綿布類・食料品等なり。

當地方に於ける邦人企業家に就ては既に報告したるが、市内に店舗を有するは門商行（窪田コンパニー代理店）の外日本雜貨商二、寫真業一、下級旅館業一あり。在留邦人は附近農園を併せ五十名位なり。

我國に於ては當地白人有力者に名譽領事囑託の意向あり。現ハリソン商會支配人を推薦の事に當地日本人會と新嘉坡總領事との間に交渉中の由なり。

尙以前好況時代にはボルネオ殖産會社・南洋殖産會社・久原油業部の外邦人栽培業者多數入り込み、又比律賓ダバオ方面へ渡航者の足留地となり、多數の娼家ありて相當殷賑を極めたる由なるも、今は昔日の觀なし。

當地に於ける主たる會社商店は左の如し。

Harrisons & Crossfield (Borneo), Ltd. 當領第一位の商館にして、其營業範圍極めて廣く一般輸出品の外當地寄港各汽船會社・保險會社及各種三十餘の會社の代理店業を營み、殊に香港上海銀行代理部は消極的乍ら一般銀行業務及外國爲替業を營み、對正金銀行・臺灣銀行とコルレス契約あり。

會社は又栽培業に投資し、他に State Visiting Agents を營み居れり。

British Borneo Timber Co. 英領北ボルネオ全土の木材伐採權を有し當地に製材工場あり。製材の上盛に輸出し居れり。英領北ボルネオ會社(即ち通稱政府)の出資關係あり。

小規模造船所及製氷工場を有す。

North Borneo Trading Co. 左記會社設立前一部地方森林の拂下を受け居り、サンダカン附近に於ける栽培業者は主として當社より土地の割讓を受け居れり。當地に製材工場を有せり。

Bakan Co. 染料(Cutch)の製造を業とし、バカン(Bakau)及タンガ(Tanga)の原料とす。共にマングローブの一種にして當地方沼澤地帯に密成し、土人の伐採し來るを買入れ樹皮より精製す。我國に於てタンガラ染と稱するは右タンガが語源なりと事情通の話なり。

此外支那商萬和隆は當地方第一位の雜貨商にて、香港・新嘉坡より米・綿布・雜貨類を輸入し、物産を買入れ輸出し、金貨を副業とし、華僑の本國送金を取扱ひ居れり。

當地附近に椰子・護謨園數千英反を所有せり。

## 2. ゼセルトン (Jeselton)

サンダカンに亞ぐ都市にしてガヤ灣に臨み風光明媚なり。附近部落を含む人口壹萬人位あり。土地局・印刷局・鐵道局等の官衙は當地にあり、又總督も數箇月間當地に駐在する事ありと云ふ。當領唯一の鐵道は當地を起點とし、其沿線各地より生産する護謨は大部分當港より新嘉坡に輸送せられ居れり。

當領生産護謨壹千百萬封度の中約三分の二即ち壹千萬封度は當港より輸出せらる。農園方面食料

品其他は當港を経て供給せられ居るが、護謨價の暴落は市況に影響する處大なり。  
 輸出品は護謨の外見るべきものなく、輸入品の主たるものは、米穀類・綿布類・食料品・煙草・雜貨  
 等にして、最近二箇年間貿易額左の如し。

輸 入	年 度		輸 出
	一 九 二 七 年	一 九 二 八 年	
計	二、九九九、二〇五	二、七一三、八六八	九、六六六、四〇九
	六、六六七、二〇四	三、六九二、四〇四	
			六、四〇六、二七二

當地在留邦人數は三十人位にて、日本雜貨業寫眞業者一の外は婦人にて歐米人の家政婦となり、  
 或は支那人に嫁し居り、之等の邦人婦人にして護謨及椰子園を所有する者あれど、小園にして問題  
 とする程に非ず。

當地には中華民國總領事館あるが、近く閉鎖するならんとの風説あり。ハリソン及ステート・バン  
 ク支店あるが、市内の商業支那人に依て營まれ、サンダカン其他の市街同様全く支那街の觀あり。  
 當地よりイナナムを経てテアラン(Teran)に通ずる自動車道路附近には、當領には珍らしき水田  
 多し。

3 タワオ (Tawan)

東海岸州理事官駐在し、蘭領ボルネオ境界に近く我大阪商船會社爪哇航路の寄港地なり。タワオ  
 は東海岸の一農村に過ぎざりしが、大正四五年頃久原・窪田兩大農園が企業さるゝに及び、邦人個人  
 椰子栽培業者續出し、各方面より苦力多數入り込みタワオの繁榮を來し、東海岸州の理事官ラハダ  
 トよりタワオに移轉するに至れり。現在邦人栽培面積壹萬數千英反に達し、タワオ市街には二三の  
 邦人小雜貨商・旅館・寫眞業者等あり。在留邦人四百六十名位なり。

タワオより東方海上六十哩の地點にある小島シ・アミル(Si Amil)には折田一二氏經營のボルネオ  
 水産公司鯨節製造工場あり。邦人漁夫を多數使用し居り、生産せられたる鯨節はタワオ港より日本  
 に輸出せられ居れり。タワオの人口は附近の農園を合し約壹萬壹千人位にして、内六七千人は支那  
 人なり。彼等はタワオの商業を獨占し農園方面への物資を供給し、コブラの買付を爲し、又椰子實  
 を買入れ、自らコブラに製造して新嘉坡に輸出し居れり。邦人小農園にして資本不足せるものは多  
 く彼等より物資を前借し、生産コブラを以て決済し居れり。

支那人は初めより相當の資本を以て此種營業を爲す者に非ずして、殆ど無一文にて渡來し、農園  
 苦力として賃金を得又は新開墾地に小作人として數英反を管理し、落花生・野菜類を間作し豚・鶏を  
 飼養し、二三年後椰子成長して間作不可能となれば他の新開墾地に移轉し、之を數回繰返し多少の  
 貯蓄出來れば商人に變り其地盤を築き居れり。タワオの貿易は左の如し。

年	別	輸 入	輸 出
一九二七年		五六一、六九九 <small>弗</small>	一、一二七、二七一
一九二八年		五六一、四〇二 <small>弗</small>	一、二二二、八二二
計		一、六四三、九七〇	一、七七四、二二四

而して主要輸出品は護謨・コブラ・石炭・木材等にして、護謨は久原農園・木材は窪田コンパニー(値段の関係にて目下伐出中止)の積出にて、コブラも過半邦人農園の生産なり。輸出品は米穀類・綿布類・食料品等なり。タワオには邦人病院 (Tawan Estate Hospital と稱す) 及日本人小學校あり。病院は財團法人組織にして臺灣總督府より年々補助を受け、又久原・窪田兩農園の援助により經營され、病院・小學校はタワオのみならず、サンダカン方面邦人も恩典に浴し居れり。

4 クダツ (Kudat)

クダツ理事官駐在し、ボルネオ島の北端マルヅ灣口に在り。港口附近は暗礁多く船の出入不便なり。往時はボルネオ政廳の所在地にして煙草・珈琲の栽培盛んなりしが、現在は昔日の俵なく支那人商店十軒位あり。

最近輸出入貿易は左の通り。

年	次	輸 入	輸 出
一九二七年		五七一、六七四 <small>弗</small>	一、二六二、〇七七
一九二八年		四八七、二五九 <small>弗</small>	八五九、六四八
計		一、八三三、七五一	一、三四六、九〇七

輸入品の主たるものは、他港同様食料品・雜貨類にして、輸出品は煙草・護謨・コブラ等なり。

5 ラハダト (Lahad-Datu)

ダーベル灣頭にあり、タワオ發展以來振はず、繁榮も亦タワオに奪はれたる觀あり。當地近郊に有名なる New Darvel Tobacco Co. 栽培地あるも、時間の都合にて視察し得ざりしが、熊田支配人の案内にて歐洲人經營の平地には椰子・高地には護謨を混植せる特色ある農園を視察せり。同地の輸出入貿易は左の通り。

年	次	輸 入	輸 出
一九二七年		三七六、〇六〇 <small>弗</small>	一、二〇一、七六六
一九二八年		四〇〇、〇八二 <small>弗</small>	七四四、三四四
計		一、五七七、八二六	一、一四四、四二六

主要輸出品は煙草・コブラ・護謨等にして、輸出減は英人經營煙草農場一の閉鎖による。



6 ポーフオルト (Beaufort)

ゼセルトンを起點とする官有鐵道の終點にして、附近には歐洲人經營護謨園多く支那雜貨商數軒あり。農園に物資の供給を爲せり。人口六七千人と稱す。奥地及ウエストンに至る鐵道二支線は、此處を起點とし交通上西海岸州南部の要衝に當る。

當地在留邦人十數人にして岩田護謨園の外、下級小旅館二軒あり。

7 ウェストン (Weston)

同名灣内にあり。當領最南端の港にして、ポーフオルトを起點とする鐵道支線の終點なり。遠淺なるため汽船寄港せず。海上約三十哩の地點にあるラブアンとの間に荷物積取の爲めバリソン所有小型汽船不定期に往復せり。

當地とポーフオルトの中間に窪田コンパニーの熊田エステートあり。當地の輸出入貿易左の如し(但し Kuala Sama を含む)。

年	次	輸 入	輸 出
一九二七年		二五九、七八二 <small>弗</small>	三六七、六七六
一九二八年		二二七、七六六 <small>弗</small>	二七九、五二二
計		六二七、四五八	五一七、二七八

8 メンパコール (Mempakol)

ウエストンより海上約三十哩、ラブアン島は當港數哩の沖合にあり。附近はサゴの特産地にして最近輸出高左の如し。

年	次	金 數	量
一九二七年		三六、七二九 <small>弗</small>	五四、八九七 <small>弗</small>
一九二八年		二九、〇六八 <small>弗</small>	六九、八〇八 <small>弗</small>

當港輸出入貿易は左の通りにして、ラブアンに輸送し積替の上新嘉坡に輸出せり。

年	次	輸 入	輸 出
一九二七年		一六八、八一二 <small>弗</small>	一六三、六一八
一九二八年		二二二、七一四	一四五、八一七
計		三三二、四三〇	三五八、五三一

14.2<sub>1</sub>  
478

終

